

## 「こんにちは！知事です（西条地方局）」

日 時 平成15年10月10日（金）15:00～17:00

場 所 新居浜市総合福祉センター

### 参加いただいた方々

	住所	氏 名		住所	氏 名
1	新居浜市	秋山 英明	10	新居浜市	平田ヤエ子
2	"	池田 牧夫	11	"	藤田 石根
3	"	石川 新一	12	"	前野 敏彦
4	"	近藤 彰一	13	"	真鍋 英子
5	"	佐々木世希	14	"	三浦 和代
6	"	佐々木信子	15	"	柳原 亘
7	"	寺田 峯子	16	"	横川アケミ
8	"	永森 貴美	17	"	渡辺 広明
9	"	日野 幸彦			

## 懇談の概要

### 国際交流員の派遣

新居浜市に国際交流課がない。県の国際交流センターの国際交流員が以前は来て貰っていたのだが、月1回でも新居浜に来て、指導し、市民との交流の場に立ち会ってほしい。

(知事)

自治体の組織にはそれぞれウエートの置き方がある。市の問題であるから申し上げにくい。

国際交流員については、調べて地元の期待に応えられる方向で工夫してみたい。

[対応]

県では、英国、中国、韓国から計3名の国際交流員を受け入れており、地域住民との交流事業の企画・実施に従事している。派遣に伴う旅費は地元負担であるが、希望があれば、可能な限り対応する。

### NPO法人の認可手続き

新居浜市の情報化を推進するための「e-えひめ」というNPO法人が5月に認可され発足した。2月頃に県に申請したが、県の担当者は親切でなく、松山・新居浜を10回ぐらいも往復した。

県の担当者は、チェックだけに専念し、方法を教えてくれないので手間がかかった。

(知事)

耳が痛い話である。県民に目線を合わせた仕事するよう指導している。

徹底していなかったなので、県庁内全体の意識引き締めのため、この事例を挙げて部長会議で再度徹底する。大変申し訳なかった。

### 狩猟被害相談における県庁の対応

狩猟期間内の昨年2月に、私の飼い犬2匹が猟犬にかみ殺された。まず、地方局に相談に行き、その後の県庁での相談において、自然保護課、薬務衛生課と別々に相談することになり、両課が一緒に対応してくれなかった。関連がある場合は、課が違っても一緒に対応できる組織づくりをしてもらいたい。

(知事)

先般も電話のたらい回しは、やめるよう部長会議で徹底した。県庁の

組織の悪いところである。県民にとって所管は関係ない。  
具体的事例であるので、庁内での周知を図る。

### **NPO、ボランティア活動への法人事業税、法人県民税均等割の課税**

NPOの活動費があるので、お手玉を作って売ったり、絵本を出版したりしているが、一昨年以来、税務署から法人市民税5万円、法人県民税2万円の支払いを求められている。

道路の草刈を新居浜市から委託されボランティアで実施した。営利活動をしているから、委託費用の残金は収益であると税務署に言われた。

(総務調整課長)

非営利法人でも営利活動をしていれば、赤字であっても、法人県民税、法人住民税の均等割が課税される。

### **水質調査のモデル事業補助金の弾力的な扱い**

えひめ AI - 1 を培養しており、水質調査のモデル事業で補助金をもらっているが、新設の事業でなければ顕微鏡が買えないというように補助金が使いにくい。

(知事)

環境浄化微生物の浄化事業は、全国に発信したい愛媛方式の一つであり、期待している。持ち帰って検討する。

[対応]

愛媛県環境浄化微生物活用水質事業費補助金は、既に AI - 1 を利用して水質浄化事業を実施している団体には、事業の運営に必要な調査管理を補助対象として支援している。

要望のあった顕微鏡の購入について、今後は、分析調査費の補助対象経費として対応する。

### **健康な高齢者への補助制度の創設**

健康な高齢者が共同生活する建物への補助金を検討してほしい。グループホームなど痴呆の老人への補助金はあるが、健康の老人が共同生活する場合の補助金がない。

(知事)

健常者がグループホームで共同生活を送ることは必要である。しかし、財政的な余裕がないので約束しかねるが、奨励できる方途を検討材料にする。

[ 対応 ]

高齢者が生活を共同化、合理化して住む建物として、グループリビング（高齢者共同住宅）があり、介護予防を目的に、市町村が整備する場合には、整備費に対する国庫補助として介護予防拠点整備事業が利用できる。この補助事業により、これまで、中山町、瀬戸町、城辺町、菊間町の4箇所にグループリビングが整備されている。

## 障害者のIT推進

障害者のITが遅れているので、力を入れてほしい。

視覚障害者にパソコンを教える場合、障害者が教える方が効果的なので、そういう制度を作してほしい。

廃棄したパソコンを再生して障害者用のパソコンとして利用するシステムを作してほしい。

さわやか愛媛をメールにして配信してほしい。

（知事）

御意見の趣旨、御希望の向きが実現できる方向で検討する。

[ 対応 ]

障害者のIT利用支援は、パソコン周辺機器又は専用ソフト購入に対する助成、パソコン使用をサポートするパソコンボランティアの養成・派遣を行っている。平成14年度からこれまで38人のパソコンボランティアを登録し、うち11人が障害者（視覚障害5人、肢体不自由4人、聴覚障害1人、内部障害1人）である。

パソコンのリサイクルは、使用可能なパソコンの供給体制整備に解決すべき問題が多いが、実施に向けて検討する。

実施済の「さわやか愛媛」の点字版、録音版に加え、希望者にはメール配信ができるよう速やかに対応する。

## 障害者の就労機会の創出

障害者団体に情報サービスされている業務を障害者団体に委託してほしい。

（知事）

作業所、授産施設以外で視覚障害者向けの情報サービスの委託はいい提案である。検討させていただく。

[ 対応 ]

視覚障害者に対する情報サービスは県社会福祉事業団と聴力障害者情報文化センターに作成を委託している。両団体は障害者への情報提供の専門機関であり、障害者団体とも密接な連携をもって運営されている社会福祉法人であるので、障害者団体への委託の可能性について、両団体と協議し、検討したい。

### 障害者の社会参加のための指導者育成方策

障害者の社会参加が遅れているのは、障害者団体に指導者が不足していることによる。指導者を育成するための方策をお願いしたい。

( 知事 )

即答はしかねるが、相談をさせていただく。

[ 対応 ]

障害者団体の指導者育成は、リーダー研修会や学習会等を開催し、指導者の育成、会員の資質向上に努めており、県は、研修会等に職員を派遣するとともに、積極的に情報提供を行っている。今後とも支援していく。

### 耐震診断、耐震補強の補助制度の創設

耐震診断と耐震補強の利用が少ないので、補助制度を作ってほしい。転倒防止金具を県が支給してほしい。取り付けはボランティアです。

( 知事 )

学校施設の耐震診断が義務づけられており、大変頭が痛い問題である。民間施設の耐震診断について、対応できるようにしたい。

### 地方機関での設計事務所登録証明書交付

設計事務所の登録証明を本庁だけでなく、出先でも出せるようにしてほしい。

( 知事 )

今、電子自治体の実現を目指しているが、その途中段階として、実現可能かどうか検討したい。

[ 対応 ]

出先機関では、最新の情報を所有していないため、設計事務所登録証明の事務は本庁のみで行っているが、登録証明書の交付申請は、郵送でも受付及び証明書交付ができる。

## 阿島ゴルフ場跡地の改善

阿島ゴルフ場は、業者の倒産により工事が中止になり禿げ山になって危ない。改善について新居浜市はいい返事がなかったが、県は指導できないか。

(知事)

土砂崩れの危険地帯となれば指導できるが、ちょっと検討する。

[対応]

開発許可した新居浜市の報告では、平成7年9月18日の工事中断までの工事の進捗率は約41%、その内、防災工事の進捗率は71%であり、未着工の調整池、沈砂池に対して仮設調整池を施工するなど土砂流出等に対する防災措置を講じており、適宜、防災パトロールを実施し、安全を確認している。

新居浜市では、事業者が承継に向けて真摯に努力していること、開発計画の中断は多方面に影響を及ぼすことなどから、早期に承継先を選定し、工事を完成することが抜本的な解決策であると認識し、引き続き事業者を指導することとしているので、市と連絡を密にし、対応したい。

## 自治会館の使用料

県の施設を自治会館として使っており、年間15万円を支払っているが、古い建物なのに15万円は高い。

(知事)

状況を把握する。

[対応]

当該自治会館は、県立新居浜病院の元公舎であったが、昭和46年、新居浜市からの申し入れに基づき、同市に有償で貸し付けている。新居浜市に、要望内容を伝え、適切に対応するよう協議する。

## 県内にある民話の会の紹介を希望

民話の会を立ち上げたが、新居浜市内に他の民話の会がないので、県内のグループを紹介してほしい。

(知事)

持ち帰り、グループ、サークルの心当たりがあれば連絡する。

[対応]

県内で民話を専門に研究や普及活動を行っている会は、松山市の「伊予民俗の会さい・ねや・ほうけ」、「えひめ民話の会」、愛媛に伝わる狸の民話伝説を探り楽しむ「いよ狸サロン」などがある。「愛媛民俗学会」も、民話の研究を行っている。

### 別子山の地域審議会への支援

市長の諮問機関である別子山地区の地域審議会で別子を盛り上げていきたいが、県が関与できる範囲があれば教えてほしい。合併における弱者を弱者で済ませたくない。

(知事)

県ができることはなかなか見当たらない。新居浜市長、新居浜市議会へ別子山の地域審議会の声をよく聴いて尊重してくださいと指導するぐらいしかない。

### 県産材使用の補助制度の継続

自治会館(集会所)を建てる時、昨年度から県産材を使うよう指導されているが、その補助金がなくなるという話があるので、継続してほしい。

(知事)

集会所の補助金は削減する候補の1つであるが、御意見は、しっかり胸に刻ませていただく。

### 環境関連の催事への県職員参加要請

環境関連の催事に県職員の来場が少ないので、環境関連以外の部署の県職員も積極的に参加してほしい。

県の前例主義、実績主義により新しい企画が実現できない。

(知事)

日常業務に相当追われているので、関係職員しか出て行けない状況である。ただ、自分の仕事だけでなく、県全体が目指している方向について県職員が認識を深めることが必要である。もし都合がつかずならば参加するよう盛り上げ方を庁内部長会議で指導する。

県職員に、前例がなければ前例を作ればいい、基準に合わなければ基準を作り変えればいい、何が県民にとってプラスかマイナスかその視点で仕事に取り組んでもらいたいと言っている。「こんにちは！知事です」は皆さんの意見をまとめるので、庁内にこの趣旨が徹底できようになりたい。



## 子育て中の女性の社会参加推進のためのシステムづくり

子育て中の母親が行事に参加しにくい。特に、園児の場合は微熱の場合でも預けることができる施設、システムがない。新居浜市で一つでも病院などにあればいいが。

(知事)

提唱している愛と心のネットワークの中で、子育て支援の場合には、ちょっと誰かが預かってくれるといったボランティアシステムのネットワークを作りたいと考えている。微熱の場合には、簡易な形でベビーシッターのようなことを民間ボランティアでできるネットワークを作りたい。成果が上がるまで時間はかかるかもしれないが、検討を進めている。私の愛媛県で是非やりたいシステムである。

## 心のバリアフリー

ハードのバリアフリーは何とかできているが、心の優しさ、他人を思いやる心で政策を進めていただきたい。

(知事)

いろいろな機会に心のバリアフリーを強調している。1400年前からお遍路さんへのおもてなし、接待の心を伝統的に持っている愛媛県民は優しい人たちである。心のバリアのある方は一部で、多くの方はそうでないと期待している。

## 雇用問題

失業者を減らすためには中小企業が失業者を受け入れなければならない。そのためには、設備投資、新分野進出が必要である。中小企業に取り組もうとさせるような、県の施策をお聞かせ願いたい。

(知事)

雇用対策が県政の最大課題である。経済回復、景気回復がなければ困難である。臨時的な雇用対策、新規創業への助成金しか対応できていないが、それも直接雇用に結びつくものではない。

## 女性農業者のネットワークづくり

徳島県のように愛媛県にも女性農業者のネットワークを農業改良普及センターなどが立ち上げてほしい。

(知事)

視点、ポイントが違うが、農山漁村生活改善協議会が活発に活動している。地域での盛り上がりが必要であるから、誰かが音頭をとらないと



うまくいかないと思う。

### **壬生川・新居浜・野田線の修復、通行止めの対応**

壬生川・新居浜・野田線に台風10号で石ころが道路に散らばり、通行止めになった。地元にとって幹線道路であり、地元から県に対策をお願いしているが、どうなっているのか。

(建設部長)

満潮、高潮、大風が重なる異常気象であった。石ころが飛んで来て危険であるので、通行禁止にし、石はすぐ除いた。

護岸が低かったなので、護岸を高くする工事を行うようにしている。

### **壬生川・新居浜・野田線の通行止めの対応**

消防団で現場にいたので、危険であることを新居浜市に連絡、市が現場を確認したところ危険であるが県道だから通行止めにできないと言われた。1時間後に県が来て通行止めにしたが、その間に数台車が通行した。緊急の場合は、市で判断することはできないのか。

(建設部長)

県道でも市は防災業務を担当しているが、道路の通行止めは県が判断することになっている。緊急事態の対応については、今回の事案を含めて検討する。

(知事)

これが役所の悪いところである。議論が逆立ちしている。

### **新居浜・別子山線拡張工事に伴う河川修復**

新居浜・別子山線の2車線化工事で銅山川を一部埋立て擁壁を作るが、工事終了後、銅山川から緑がなくなっていく。工事後の河川修復はできないのか。

(知事)

工事が終了後、原状に回復することは当然である。

(建設部長)

山を切るか川の方に広げるかになるが、河川の部署と協議しながら実施している。できるだけ自然の形態に戻している。指名業者は、道路、河川を両方できる業者である。

(知事)

二律背反の話のようである。可能な限り戻すことは大切なことである。

### 小学校の男性教諭の増加要望

30人学級になるよう教員を採用してほしい。小学校に男性教員が少ないので、男性が教員になってみたいと思うような採用制度にしてほしい。女性の担任がいけないというわけではないが。

(知事)

学級編成は、地域の実情に応じて弾力的に運用しようとする方向に進んでいる。財務省は教員の人員削減を目指しており、状況は厳しいが大切なことである。児童数が激減しているなか、密度の高い教育に向かっているのは事実である。

女性の職場進出に一番適しているのが小学校であると思う。教員採用を男性有利にすることはできない。

### まなびピアへの派遣にかかる旅費の補助

まなびピア愛媛のPRに交代で10人ぐらいが沖縄に行く。2人分の経費は県の援助があり、ありがたいが、せめて交通費でも補助がいただけないか。個人負担でいろいろ行っているが、県を代表して行く時には、考慮していただきたい。

(知事)

様々な形で御協力をいただいていることに感謝する。お手玉の会は、新居浜がメッカであり、多分相当こき使われていると思い、やや胸にグサリと刺さる思いがした。協力要請の際には、それなりの御負担への配慮があってしかるべき。具体論は申し上げないがそんな気持ちで取り組むようにしたい。

### 新居浜市の体育館建設要望

新居浜市には、小さな体育館しかない。体育館ができるようお世話願いたい。

(知事)

施設の建設は多目的に使える施設を作るべきである。体育館建設は市の問題であるので新居浜市長に伝える。

### 生涯学習講師の紹介

生涯学習講座を企画するが、専門の講師が新居浜市にはいない。県に専門講師を紹介する窓口を作ってほしい。ボランティア感覚でお願いしたい。

(知事)

生涯学習課に名簿があるので、問い合わせただければ、送付する。

### **産業遺産の保護**

別子銅山には産業遺産がたくさんある。煙突山といわれるレンガの煙突の上に木が生え崩れそうである。産業遺産を守ることに県の理解と協力をお願いしたい。

(知事)

近代遺産で文化財として指定されれば修復の補助金が出るが、そうでなければ、所有者をお願いするしかない。

### **新居浜市郷土美術館のエレベータ建設希望**

新居浜市の郷土美術館にエレベータがない。新居浜市に要望しているが実行されない。

(知事)

県からは新居浜市に申し上げにくい。